

事業所名	児童発達支援事業所 まりん		支援プログラム	作成日	2024年	12月	1日
法人(事業所)理念	<p>法人理念 私たち泰清会は、地域の人々の安心と心豊かな社会の実現に貢献します。</p> <p>園児が心身ともに健やかに育つための環境を整備するとともに、適切な教育・保育を提供します。</p> <p>教育・保育理念 子どもの人格を尊重し、最善の利益を守り、心身共に健やかに育てます。</p>						
支援方針	<p>(1) 運営方針の基本</p> <p>①友達とうまく遊べない、言葉の発達が遅い、視線が合いにくい、集団での活動に参加しにくい、動きが激しいといった、発達に心配や不安を抱えておられる子どもとその保護者に療育支援する</p> <p>②遊びを充実させたい力を高める。その中から自信や成功感、満足感を持たせ、意欲を持って前向きに生きる子どもになるよう力を添える</p> <p>③物の貸し借りや順番を守るなど、集団の中で必要なルールや約束事を身につける</p> <p>(2) 利用者処遇</p> <p>①利用者園児の達成感「やってみたらできた！」をつくるために工夫した療育環境のもと支援する</p> <p>②利用者園児の理解の特性をふまえて「聞いてわかる」「見てわかる」「繰り返して分かる」の3つのパターンで個々の強みを生かした理解を高める療育をする</p> <p>③利用者園児のルールを守る気持ちをつくるため元気にやりたいことをいっぱいすると共にお友達との関係でちょっと受け入れる事も支援する</p> <p>(3) 支援計画</p> <p>①見学時に利用者家族から困っている事を聞く</p> <p>②入園時利用者家族からニーズ・主訴・願いを聞く</p> <p>③園児のアセスメントを行う</p> <p>④相談支援業者の利用サービス計画・利用者家族の困り感とニーズ・本児の様子のアセスメントを盛り込み個別支援計画を立て、職員会で検討・保護者にサインを頂く</p> <p>⑤日々、個別支援計画に基づいて実践、ケース会議や終礼で計画の進捗状況を確認する</p> <p>⑥最長6カ月で、保護者と計画の評価を行い見直しを再度、個別支援計画を立て直す</p>						
営業時間	8時	15分	17時	15分	まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
5領域	項目	ねらい	具体的な目標				
健康・生活	食事	様々な食材や味を楽しみながら食べることができる	・食材が食べられる(好きな物、より分けて食べれそうな物、職員の勧めで一口食べてみる、量を減らして食べる)・完食できる・おかわりができる(ご飯粒等を集めて食べる)				
		食具や食器を使って食べることができる	・自分から手づかみで食べる・スプーンやフォークを使う・箸を使う・メニューによって使い分ける・お皿に手を添える・お皿を持って食べる／・ストローやスプーンなどで飲む・大人が持ったコップから飲む・自分で持って飲む				
		食事のマナーや食後の習慣を身につけることができる	・食器を片付けてお皿を運ぶ／・口の中に歯ブラシを入れる・自分で歯ブラシを持つ・大人の仕上げ磨きに応じる・一人で歯磨きをする・口から水を出す・口から水を出す／・口の中でゆすぐ・大いをする／・大人に手や口を拭いてもらう・自分でタオルで口や手を拭く				
	排泄	排泄の感覚を掴み、排泄の自立に向けて取り組むことができる	・活動の切れ目等の定期的な時間に誘いかけて、トイレへ行く・オマルや便器等に座る・間隔をつかみながら、少しずつトイレで排泄できる・予告前後で排泄へ行く・先生に断りを入れてからトイレへ行く／・全部脱いで排泄する・半分下げて、排泄する・おしりを隠して排泄する・個室に入ってから排泄する・トイレットペーパーを適量とって拭く／・手洗い、スリッパを揃える習慣を身につける				
	着脱	衣類の着脱が自分で行えるようになる	・ズボン、パンツ、靴下、上着、パジャマ等の着脱をする(全介助・一部介助・声掛け・見守り)・畳んでかごに入れる／・服、靴等の前後・左右を見て履く・裏返しを直して履く／・状況(季節、気温、清潔)に合わせて着脱をする				
	生活の日課	見通しを持って生活することができる	・遊び、生活などの日課に慣れる・カードを見て一緒に行動する・次の行動や活動を楽しみに行動する(1の指示、2～3の指示、4～5つで次の活動までの指示、半日、一日の日課)／・指示を聞いて、行動する・集団のペースに合わせて行動する				
運動・感覚	粗大運動	しっかりと身体を動かし、様々な身体の動かし方ができる	・階段の上り下り・飛び降り・高足ジャンプ、片足ジャンプ・ケンケン・スキップ／すべり台を滑る(支えあり、支えなし)、ブランコに乗る(支えあり、支えなし)、トランポリン(支えあり、支えなし)／・身体のパラソルをとる動き(立つ、座る、寝転ぶ、回る、転がす、渡る、ぶら下がる)・身体を移動する動き(歩く、走る、はねる、跳ぶ、登る、下り、這う、よける、すべる)・用具などを操作する動き(持つ、運ぶ、投げる、捕まる、転がす、蹴る、積む、こく、握る、押す、引く)→大型遊具(ブランコ・すべり台・トランポリン・トンネル等)・サーキット(平均台、梯子、階段、よじ登り)遊び等で様々な身体の動きを取り入れて遊ぶ／・体操、ダンス(リズムにのる。動きをまねる、しなやかに身体を動かす)をする／・コマ回し、びゅんびゅんゴマ、ヨーヨー、けん玉、縄跳び等を繰り返して行い、身体や手先の使い方のコツを掴み、上達する				
	微細運動	生活や遊びの中で、手指や道具を楽しみながら使うことができる	・手のひら全体と親指でつかむ・親指、人差し指、中指を使って物を持つ・親指と人差し指で物をつかむ、持つ(積み木、ヒモ通し、ぼとん落とし等のおもちゃ)・フック(タオル、歯ブラシ、袋等)にかける／様々な素材の感覚に慣れる(紙、水、のり、粘土等)・紙(丸める、ちぎる、シール、折る)水(触れる、移し替える)のり(触れる、適量取る、塗り広げる)、粘土(触れる、広げる、伸ばす、丸める、こねる、形作る、型抜き)の感覚や手先を使って遊ぶ・製作(はさみ、マーカー・クレヨン、折り紙)で手先や道具を使うことができる・はさみ(持ち方、開閉できる、一回切り、連続切り、直線、曲線、線を意識して切る、自由に切る)、マーカー・クレヨン(握り持ち、鉛筆持ち／なくり描き、横線、縦線、曲線、渦巻き・形(イメージ)、顔、頭足人、身体、具体的な物を描く)、折り紙(半分に折る、折り目をつける、四角、三角、簡単な折り紙が折れる、端を合わせる)				
認知・行動	アカデミックスキル	知る、分ける、考える力(学習の基礎)を育み、その力を発揮することができる	・マッチング、ポイントティング、分類等で違いを知る、分ける、考える・名称(動物、食べ物、乗り物、色等)を選ぶ、指差し、答え)・数(数唱、数概念、抽出等)・比較概念(大小、長短、軽重等)・じゃんけんのルール理解				
	ソーシャルスキル	日常生活において、適切な表現や行動を会得することができる	基本→あいさつ、ルール、順番、生活習慣等で相手に反応することや応答する力 対人→会話、相手の気持ちを考える、自分の気持ちを伝える、説明する 感情→我慢、感情のコントロール ・自らの行動を臨機応変に変える力、・生活や社会のルールに対して、規律を守ろうとする力 ・合言葉「わかったよ」「まあ、いいか」「いいよ」「ちよーと、やってみよう」「いいけど、ちょっとだけがんばってみる」 ・話をしている人を見る、聞く、静かにする				
言語コミュニケーション	言語	自分の思いや気持ちを自分なりの表現方法で伝えることができるようになる	・表出する(行動、声、音等)・音声をまねる・動きをまねる音声を表す・単語・2語文・やりとりに応じる(ちよーと、どうぞ、ありがと、かして、いいよ等)・質問に答える(2択、オープン・クローズクエスション)・説明できる・考えて答える・心情や状況が分かり、言葉で表現できる				
	コミュニケーション	友だちや先生に、自分なりの表現方法(声、身振り、言葉等)で伝えることができる	・動きや声を真似る・やり取りができる・表情や状況の理解ができる・自分から声をかける・相手に尋ねる・相手に断りを入れる ・聞く力・話す力 ・身振りを付けた簡単な指示にそう(だっこ、おいで)・言葉がけだけで簡単な動作をする(ハイハイ、拍手)・日常的な行動をあらわす言葉の指示にそう				
人間関係社会性	対人	生活や遊びの中で、友だちや先生に親しみをもち、繰り返し楽しむことができる	・視線が合う・手差し、クレヨン、指差しをする(要求)／・大人に頼む・大人に眼差しを向け期待する・友だちと関わる・具体的な関わりを持つ・遊びに加わる・遊びに誘う・繰り返し楽しむ／・大人や友だちの提案を受け入れる・教えてあげる・当番活動				
	集団	集団中で、先生や友だちと一緒に思いっきり楽しむことができる	・好きな遊びで集団に参加する・興味なくとも、少しやってみる・ルールのある遊び				
家族支援	・相談援助として登園時のお便り帳・対面・電話にて、悩みや子育て相談(随時) ・資料を用いた学習会とマジックミラーから支援内容の見学の参観日(毎月1回) ・ペアレント・トレーニングの実施(不定期開催) ・子どもの様子や課題についての個人懇談(半年に1回)及び発達検査(必要に応じて)	移行支援	・各併行園と随時連携 ・相談支援事業所にも毎月情報(出席日、子どもの様子)を送付 ・学校就学において見学引率を行う、就学説明会 ・児童発達支援センターへの見学引率を行う				
地域支援・地域連携	・各併行園と随時連携 ・相談支援業者にも毎月情報(出席日、子どもの様子)を送付 ・医療との連携 ・外来教室での親子療育、お話し療育(11月～3月の週1回1時間) ・自立支援協議会への参加	職員の質の向上	・毎月1回の事業所内研修 ・法人研修 ・外部研修				
主な行事等	水遊び、クリスマス会、お楽しみ会、お別れ会、世代間交流、避難訓練						